



医王山油山寺は遠州三山のひとつで「あぶらやま」とも呼ばれ、多くの人々に親しまれている真言宗の古刹です。大宝元(701)年頃に、行基が無病息災などを願い、薬師如来をまつたことに始まると伝えられています。孝謙天皇が眼病の折、境内にある「るりの滝」の水で洗ったところ快癒したことから、眼病治癒の寺としても知られ、広く信仰を集めています。

広大な境内には木々が茂り、四季折々の美しさを見せています。桃山の三名塔として知られる三重塔、掛川城の御殿下御門を移した山門、本尊を納める本堂内厨子は国指定重要文化財となっています。



『緑陰おはなし会』市立図書館



2 油山寺山門 昭和29年9月17日 国指定重要文化財建造物

この門は、掛川城の玄関下御門を、明治5(1872)年廃城にあたって移築したもの。万治2(1659)年に井伊直好により創建。入母屋造り、本瓦葺。現存する県内唯一の城門。

説明板あり。WC。駐車場20台。



4 油山寺本堂内厨子 昭和29年9月17日 国指定重要文化財建造物

天正16(1588)年に、扉金具を奉納した記事があることから、厨子の造営は更に古い可能性が高い。

説明板あり。非公開。



7 油山寺本堂 昭和42年10月11日 県指定文化財建造物

元文4(1739)年に再建されたことが棟札に記されている。宝形造茅葺(現在は、茅葺型銅板)で、前面中央に向拝が付き、廻縁が巡る。



22 油山寺の御霊杉

昭和27年4月1日 県指定文化財天然記念物

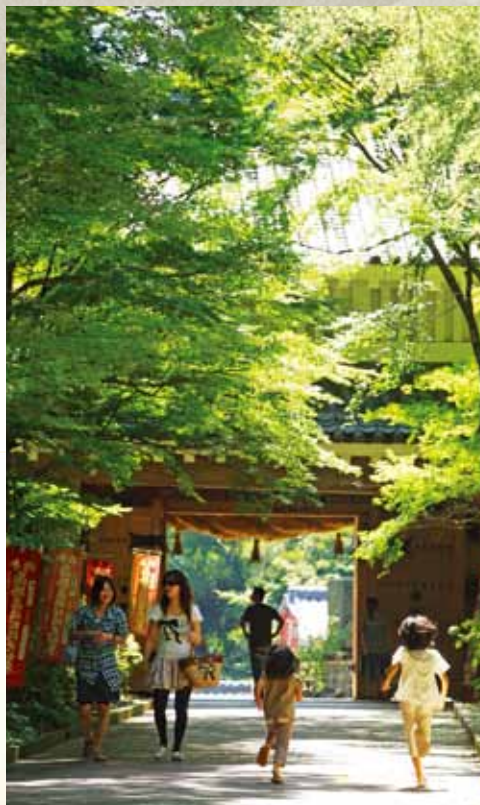
樹高約16m。昔、弘法大師が与衛門夫婦の用意した箸で食事した後、地面にさしてたてたのがこの杉になったという言い伝えがある。


袋井名刹

医王山油山寺


境内の中にくつもの古と四季が香る

袋井市村松




3 油山寺三重塔  昭和29年9月17日
国指定重要文化財建造物
天正2(1574)年に起工し、久野城主・久野宗成の援助により慶長16(1611)年に完成。屋根頂上の相輪伏鉢に銘文が残る。総高23.884m。 **説明板あり。**



8 油山寺書院  昭和44年5月30日
県指定文化財建造物
元禄12(1699)年横須賀城内に城主西尾忠成によって建てられ、安政6(1859年)に寄進を受け移築したものである。



11 油山寺方丈  昭和58年9月27日
県指定文化財建造物
遠州浅羽の代官仁科宇兵衛が宝暦14(1764)年に代官屋敷として建築した建物で、明治14(1881)年に油山寺が寄進を受けて移築したものである。



袋井市村松 1 ☎0538-42-3633